

【報道発表資料】

## 第30回コカ・コーラ環境教育賞 最優秀賞・優秀賞・大臣賞受賞団体決定

- ◆活動普及部門 小学生 最優秀賞・文部科学大臣賞  
NPO 法人 SDGs Spiral (福岡県北九州市)
- ◆活動普及部門 中学生 最優秀賞  
新渡戸文化中学校 Action for Future(企業共創ラボ) (東京都中野区)
- ◆企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞  
清風高等学校 生物部 アオコ班 (大阪府大阪市)
- ◆活動普及部門 小学生 優秀賞  
色響(IRO&HIBIKI) (鹿児島県鹿児島市)
- ◆活動普及部門 中学生 優秀賞  
草津市立松原中学校 (滋賀県草津市)
- ◆企画・研究推進部門 優秀賞  
青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA (青森県三戸郡)  
沖縄県立宮古総合実業高校 環境班 (沖縄県宮古島市)

公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(所在地:東京都渋谷区、理事長:佐々木康行、以下当財団)は、環境保全・環境教育に関する顕著な活動への顕彰および環境保全・環境啓発・環境美化に寄与する新しい企画への支援をおこなう「第30回コカ・コーラ環境教育賞」(協力:読売新聞社、後援:文部科学省、環境省)の最終選考会および表彰式を10月5日(土)におこないました。

本年は、一次の書類選考で選ばれた全国の小学生から大学院生までの13団体(活動普及部門:8団体、企画・研究推進部門:5団体)による最終選考(プレゼンテーション)により受賞団体を決定いたしました。最優秀賞および大臣賞受賞団体、受賞コメントは以下の通りとなります。



### 【活動普及部門(小学生) 最優秀賞・文部科学大臣賞】

NPO 法人 SDGs Spiral (福岡県北九州市)

万華鏡の活動ということで、体験した皆さんの心を動かした時のように、「少し動けば景色は変わる」ということを感じてほしいですし、彼らが大人になった時、新たな課題があると思いますので、その時にも自分たちから行動、アクションを起こせるようになってほしいと思います。これからも活動を続けていきたいと思います。応援よろしくお祈りします。(指導者コメント)

### 【活動普及部門(中学生) 最優秀賞】

新渡戸文化中学校 Action for Future(企業共創ラボ) (東京都中野区)

受賞してすごく嬉しいのと、北海道のコカ・コーラ環境ハウスに行けるので、受賞した皆さんと一緒に北海道で学習することを活かして、また自分たちのアクションを続けていき、社会貢献ができればいいなと思います。また、プレゼンテーションを本番までに何回も練習してきて、本当に大変でしたけど、それが結果に繋がって本当によかったと思います。応援のほどよろしくお祈りします。

### 【企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞】

清風高等学校 生物部 アオコ班 (大阪府大阪市)

今回のコカ・コーラ環境教育賞以外にも、バイオサミットという大会など、色々先輩が出ているのですが、先輩たちの頑張りを受け、その研究を僕らが引き継いでいるから、さらにこの研究を発展させて、今日発表させていただいたように、地域の活性化にもっと繋げていきたいと思っています。

※文部科学大臣賞、環境大臣賞は各部門の最優秀賞受賞団体のいずれかより、その活動・企画内容等を精査の上、最終選考会にて決定しております。活動普及部門においては小学生・中学生の最優秀賞受賞団体のいずれかに大臣賞を授賞しており、今回は「NPO 法人 SDGs Spiral」が受賞しました。

また優秀賞は、以下の団体が受賞しました。

### 【活動普及部門(小学生) 優秀賞】

色響(IRO&HIBIKI) (鹿児島県鹿児島市)

### 【活動普及部門(中学生) 優秀賞】

草津市立松原中学校 (滋賀県草津市)

### 【企画・研究推進部門 優秀賞】

青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA (青森県三戸郡)

沖縄県立宮古総合実業高校 環境班 (沖縄県宮古島市)

活動普及部門最優秀賞受賞団体には各 30 万円、優秀賞受賞団体には 10 万円の活動助成金が贈られます。また、企画・研究推進部門最優秀賞受賞団体には 100 万円の活動助成金が贈られます。



### 【第30回コカ・コーラ環境教育賞 選考委員長 総評(抜粋)】

総合地球環境学研究所 教授、  
公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 評議員 浅利美鈴

発表いただいた皆さん、本当にありがとうございました。今回受賞を逃したところも、本当に選考員が頭を悩ませるぐらい全て素晴らしい取り組みばかりでしたので、ぜひ来年以降も挑戦していただければと思います。

今回は多様性、国際性、ジェンダーバランス、障害者の方への配慮、そうしたことを取り組みの中で考えているかを記載する欄が追加され、条件によって簡単でないところもあったと思いますが、小学生部門の最優秀賞、文部科学大臣賞受賞のSDGs Spiralさんは、その点もふまえて本当に素晴らしい取り組みだったと感じております。「少し動けば景色は変わる」ということは、本当に私たちの心を射抜いた言葉だったと思います。

同じく小学生部門の優秀賞 色響(IRO&HIBIKI)さんはとても素敵な活動名でもありますし、その活動を自分たちの出演料から捻出しているというようなことも見受けられ、大変感心いたしました。将来性にもぜひ期待したいと思っています。

中学生部門の最優秀賞 新渡戸文化中学校は、一般企業に体当たりで連絡する姿、なかなかできないことであり、すごく勇気をいただきました。ぜひその体験を忘れずにこれからも頑張ってくださいと思います。

優秀賞の松原中学校は、まず「答えがない問いに挑む」ということが出発点になっているということに驚きました。食ロス問題に対して考えている解決策が、本当に根本的なもの、原点まで議論している様子が伺え、今後それをどうやって形にされていくのかを期待しておりますので、ぜひまた進展を聞かせていただきたいです。

企画研究推進部門の清風高等学校 生物部 アオコ班。いずれも10～30年近く取り組まれている研究を代々先輩から引き継がれているものもあり、指導者や地域の方々の指導を受けると同時に、逆に生徒の皆さんも地域へ大きな影響を与えているのではないかと思います。同部門優秀賞2校も、地域連携、地域協働という意味でも非常に高評価でした。

今回は本当にレベルが高く、審査は難航すると同時に、我々は審査員ではあるのですが、私たちも学ぶ場面もたくさんありました。そういう意味では、教育とはいえ、共に学び、共に育むという「共育」の場にもなったと思います、我々も大変感謝しております。

また皆さんといろいろな形でお会いし、お喋りをできたらと思っています。皆さんも自分たちの活動の話を熱く語っていると、うるさく思われるのではないかと心配するかもしれませんが、是非この環境教育賞の経験や、挑戦したことを含め、周りの方に伝えていただけたら、とても大きな影響を及ぼすことができると思います。またどこかでお会いすることを楽しみにしています。



コカ・コーラ環境教育賞は 1994 年の賞設立以来、環境教育・環境保全活動の促進を目的に、地域に貢献するボランティア活動の助成・支援をおこなっており、2023 年度までの応募団体数は全国で 2,400 団体以上に上ります。

本賞の概要およびライブ配信でおこなった表彰式の模様(後日アップ予定)等は以下ホームページにてご覧いただけます。

**【第 30 回コカ・コーラ環境教育賞特設ページ】**

<https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize/30th/>



(財団佐々木理事長による開会挨拶)



(活動普及部門 小学生 最優秀賞・文部科学大臣賞)



(活動普及部門 中学生 最優秀賞)



(企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞)

《第 30 回コカ・コーラ環境教育賞 受賞団体活動概要》

**【活動普及部門(小学生) 最優秀賞・文部科学大臣賞】**

NPO 法人 SDGs Spiral (福岡県北九州市)

本活動は、障害者が主体となって今ある複数の課題を多くの人と力を合わせ解決しながら万華鏡を作るプロジェクトです。「竹林整備・森林保全」「海岸清掃」「ワークショップ」の三部構成となっており、山や海など様々な課題を同時に解決・改善しながら SDGs 万華鏡を作ります。

**【活動普及部門(小学生) 優秀賞】**

色響 (IRO&HIBIKI) (鹿児島県鹿児島市)

明日の地球を守るために何ができるかを考える鹿児島県のグループで、小中高校生と音楽や色彩、創作、環境などの体験型ワークショップを行っています。海洋プラスチックゴミ問題に取り組み、漂着物で楽器を作り、オリジナル絵本「海からのメッセージ」を制作。オリジナル音楽を作曲し演奏活動をしています。





### 【活動普及部門(中学生) 最優秀賞】

新渡戸文化中学校 Action for Future(企業競争ラボ) (東京都中野区)

生徒の興味や関心に合わせてグループをつくり、生徒主体で探究活動を行う「ラボ活動」。その1つ AFF ラボでは、生徒自らアポイントをとり、SDGs 推進企業を訪問。30 を超えるパートナーシップの中で、プロジェクトを発足。「森林保全」を目的としたアクションは、アワード受賞やアンバサダー就任など社会にインパクトを与える。

### 【活動普及部門(中学生) 優秀賞】

草津市立松原中学校 (滋賀県草津市)

「ESD を軸とした持続可能な社会に向かう生徒の課題解決力の育成～地域との協働学習を通して～」をテーマとして、「松原未来学習」と「松原ローカル学習」の2本軸で、3年間系統的かつ連続性のある学習を推進している。松原未来学習とは、「Think globally, act locally」を基本的な考え方としている。昨年度、1年生では、世界の食品ロスの問題から身近な給食の残食を減らすための方策を考え、草津市に提言を行った。松原ローカル学習では、松原中学区で多く栽培されているブランド野菜である「ベジクサ」について調べ、給食の残食減少に向けて取り組んだ。

### 【企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞】

清風高等学校 生物部 アオコ班(大阪府大阪市)

絶滅が危惧されているニッポンバラタナゴ(淡水魚)を保護するために、高安の里の環境保全活動を行っている。清風中学生物部は、1999年から、八尾市高安地域の人達の協力を得て改修した溜池(RE-1)で活動を行っている。具体的には、月1回、溜池で定期調査を行い、水質調査や水生生物の観察(主にケイソウ類)、清掃活動、啓発看板の設置等に取り組む。

### 【企画・研究推進部門 優秀賞】

青森県立名久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA (青森県三戸郡)

水の惑星と呼ばれる地球。しかし気候変動や人口増加による食糧増産などにより、水不足が世界的な深刻な問題となりつつある。そこで私たちは、密閉容器と超音波ミスト発生装置を用いて貴重な水を有効利用する節水型ミスト栽培システムを開発した。このシステムの特徴は養液をミスト状にして間欠的に供給することである。給水頻度を最適化することで、従来の水耕栽培と比較して、レタスの収量を損なうことなく、約70%の節水、約65%のCO2排出量削減、さらに約84%の肥料節減が可能であることを確認した。

このような節水視点に立って開発された装置や栽培法は例がなく、水不足を抱えている乾燥地帯はもちろん、世界各地で役立つ技術である。この画期的な節水技術はこの夏、スウェーデンにて私たちによって世界公開される予定である。

沖縄県立宮古総合実業高校 環境班 (沖縄県宮古島市)

私達は、地下水保全を目指し、化学肥料由来の硝酸態窒素汚染防止を目的に有機質肥料の研究開発に取り組み実用化、年間6,000袋を製造し農家へ普及している。その成果は、1980年代地下水に含有される硝酸態窒素濃度が8mg/Lを認めたのが、現在4mg/Lの濃度に低減した。しかし、15年ほど前から害虫防除目的でネオニコチノイド系化学農薬が大量に使用され、地下水が農薬に汚染されている現状を確認、大切な地下水を化学農薬汚染から守る活動に挑戦している。

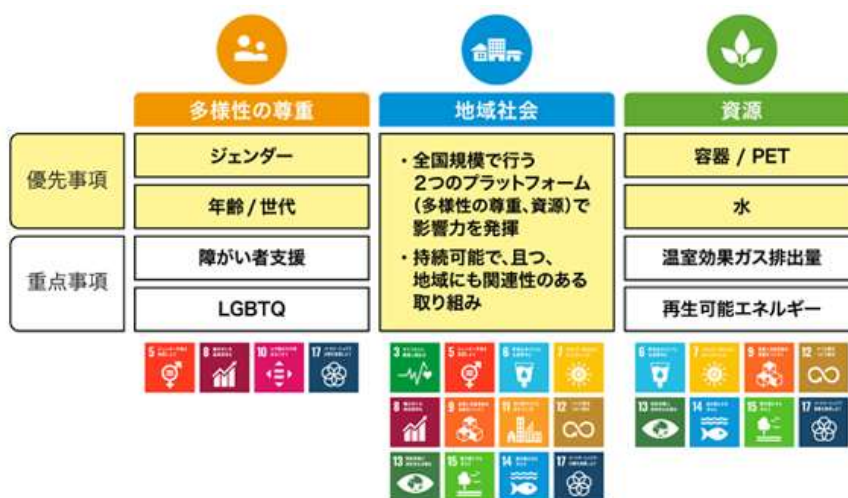
## ■日本のコカ・コーラシステム サステナビリティ

原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社を日本の「コカ・コーラシステム」と呼んでいます。

日本のコカ・コーラシステムは、環境や日常生活、私たちを取り巻く地域社会などの各場面で、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらし、さわやかさを届けながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。

日本コカ・コーラ サステナビリティ公式サイト: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability>

## サステナビリティフレームワーク



## ■公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団

名称: 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団  
 英字名称: The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation  
 許可日: 2007年6月25日(※2011年9月27日 公益財団法人へ移行)  
 理事長: 佐々木康行  
 所在地: 東京都渋谷区 4-6-3  
 公式サイト: <https://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>  
 概要: 2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立、2011年9月より公益財団法人に移行しました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな国際社会の形成及び国際親善に寄与することを目的とし、内閣府に公益認定を受け、事業を展開しています。  
 主な事業内容: 環境教育、奨学支援、災害復旧・復興支援を柱とした各種社会貢献事業



## ■雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス

北海道夕張郡栗山町の歴史ある廃校を宿泊可能な施設として再生した「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、体験型の環境教育プログラムの拠点であり、特定非営利活動法人 雨煙別学校が、自然体験学習を中心とした教育活動を実施しています。2010年のグランドオープン以来、小学校の宿泊学習をはじめ、大学生の実習やスポーツ合宿、企業研修等、多くの人に利用されています。

公式サイト: <http://uenbetsu.jp/>

